

EAR V12

Designed by Tim de Paravicini



High Performance Intergrated

ps EAR Yoshino

V型12気筒エンジンのみが奏でる咆哮。 パワフル、スムーズ、そしてシルクのような音触り。



歴史的な名車「ジャガー XJ12 5.3」。

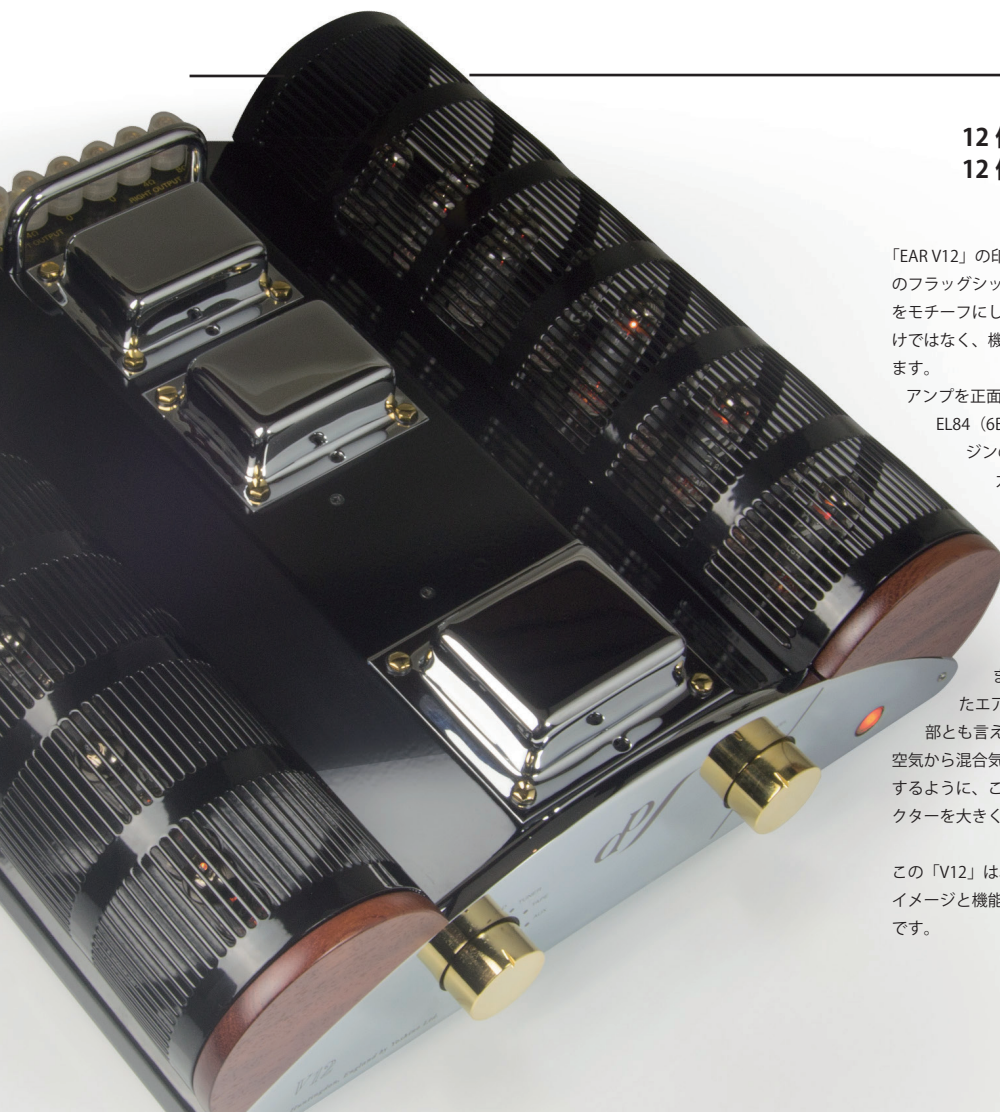
上品、華麗、優雅、それを全身で表現したような気高くエレガントな佇まい。「ビッグキャット / 豹」と呼ぶに相応しい、ヒタヒタとした、まさに鏡の上を舞い行くような滑らかな乗り心地に、「タッチ / 感触」に優れた正確なハンドリングによる操縦性、そして XJ12 を象徴する V 型 12 気筒 5.3 リッターエンジンはパワフルで粗野無く、スムーズな味わいを始終一貫保ち続ける。そのシルキーなトルクの感触は官能の極致とまで言われる。

「EAR V12」は、現代ではもはや作ることが出来ないであろう、この不世出なスペシャルサロンのインスパイアされ、ティム・デ・パラヴィチーニの経験的な努力の積み重ねによって達成された「洗練された音の気品」を表現できるように、全てを白紙の状態から積み上げたパラヴィチーニ自身のインテグレートッドアンプです。

かつての英国車が持ち合わせていたように、絶対的な性能の数値の優劣を超越した、機能もたらす「心地よさ」や「タッチ」にこだわり、瑞々しい音のヒダが、空間の奥深くまで染み渡り、圧倒的な美しさと繊細さを持って聴く者を包み込むように細心の配慮を持ってパラヴィチーニが敬意を払ってデザインしました。

特にエクステリアデザインは、真空管アンプによくある、前面に真空管、その後方にトランスが並ぶというオーソドックスなスタイルではなく、V型12気筒エンジンのカムカバーを彷彿とさせるルックスも、「V12」を所有する喜びをオーナーに感じて頂けるようパラヴィチーニが拘ったスタイルです。

ピアノシモからフォルテシモまで、まるでアクセルペダルに呼応するようにダイナミックに、そしてスムーズに味わい深いトーンを奏でるこの「V12」の官能的な調べをお楽しみ下さい。



12個のシリンダーがパワーを生むように、 12個の真空管が官能的なサウンドを出力。

「EAR V12」の印象的なスタイルは、まさに様々なクルマブランドがそのメーカーのフラッグシップモデルとして、威信をかけて造られる V12 気筒エンジンのそれをモチーフにしていますが、しかしそれは、単に外観上のデザインエッセンスだけではなく、機能に関しても V12 気筒エンジンと同様な手法が取り入れられています。

アンプを正面から見て、バンク角が付けられた左右のシャシ上面に、出力管：

EL84 (6BQ5) が整然と配列されています。この配列も実際の V12 気筒エンジンのように片側バンクに 6 本の EL84 が並び、左右合計で 12 本の出力管がトリプルプッシュプル動作でそのパワーを生み出します。

さらにその出力管の前方には、プリ管である ECC83 (12AX7) が片側チャンネル毎に 5 本ずつ、トータル 10 本使用され、プリ管、及びパワー管を合わせた真空管の総数は 22 本に及びます。まさに「King of Tube」と呼ばれるパラヴィチーニの面目躍如たるアイデアと技術が満載された作品です。

また、左右の出力管を挟むように、まるでキャブレターに装着されたエアクリナーのようなクロム仕上げのカバーは、EAR アンプの心臓部とも言えるトランスフォーマーで、まさにキャブレターがガソリンと吸入空気から混合気を作り、最終的なエンジンの出力や、走りそのものの性格を左右するように、このトランスフォーマーの設計や実際の効率がアンプの音のキャラクターを大きく左右します。

この「V12」は単に奇をてらったデザイン優先のアンプではなく、むしろサウンドイメージと機能から必然的に生まれたレイアウトがもたらしたアンプでもあるのです。

Performance

瑞々い EAR サウンドを導き出す音創りのレシピ。 「バランス・ブリッジ・モード」。

パラヴィチーニが、EARの名を冠して初めてリリースしたレジェンド作品「509」に採用され、以後、EARのアイデンティティーとなっている真空管とトランスフォーマーを結合させた独自のトランスカプリング回路「バランス・ブリッジ・モード」。

パラヴィチーニが独自に進化をさせてきたこの回路は、トランスのアノードとカソードを完全に50/50の比率に分けてワインディングし、双方をキャパシターを介してクロスカプリング(ブリッジ)させ、スイッチオン側のデバイスが常に反対のスイッチオフ側のデバイスを作用させる働きを持ちます。4つのワインディングは同じ巻線のターン数を持つので、同時に4つのパラレルワイヤーをワインディングでき、結果的にアノードとカソードの反射インピーダンスが同じになり、ワイドレンジで低歪、そしてパワフルで安定性と追従性の極めて高い動作を可能とします。特にキレの有る、しかし耳に痛くならない美しい高域と、拡がり過ぎず、押し出しすぎないタイトでナチュラルな低域が、一般的な真空管アンプのイメージとは異なる音楽のディテールを紡ぎ出します。

「V12」は出力管にEL84を採用し、5極管接続をベースとしたプッシュプル・クラスA回路で50Wの出力を発揮します。ここでもEARアンプの特徴であるフィードバックを掛けないデザインが施され、厚みを失わないワイドレンジで透明感のある響きを音質上のターゲットとしつつ、またこの特性を小音量でもディテールを失わず再生できるように配慮されています。

様々なテクニックが複雑に絡み合いながら、しかしそれが見事に調教され調和した時に、あのV12気筒エンジンにしか表現できない官能の音世界が貴方を挑発し、そして時間を忘れるほどに優しく包み込んでくれることでしょう。



V12の美しく心地よい音楽の響きを生み出す心臓部 「トランスフォーマー」。

多くの真空管を使った音響製品で良く聞かれる表現「温かさ」。

「これは主に効率の悪いトランスフォーマーや、そのハイインピーダンス・アウトプットの負荷による高域成分の表現不足を弁護するための同情的な言葉だ」とパラヴィチーニは語ります。また出力トランスのフィードバックに頼る多くの真空管回路は不安定な低域にもなりやすく、結果としてプーミーなベースサウンドになりがちです。つまり「温かさ/ウォームさ」とは、実はチューブサウンドの欠点であるとも解釈できます。

これらの問題を解決するべく、パラヴィチーニ/EARがワイドでスイートなサウンドを出力するために最も重要なパーツとして捉え、細心の注意が払われてデザインされるアンプの心臓部がトランスフォーマーです。一般的に1つの回路から交流電力を供給され、電磁誘導作用により他の回路に電力を供給する装置、つまり電気エネルギーを磁気エネルギーに変換し、さらに電気エネルギーに変換する装置を指します。

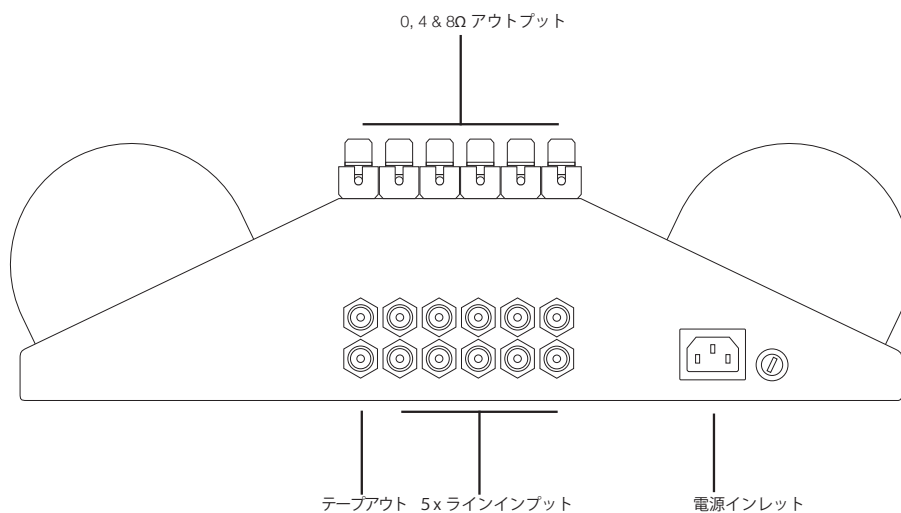
トランスは主に銅線を鉄心(コア)に何百、或いは何千回と巻きつけた構造をしています。変換効率に優れ(損失が低い)音楽的な美しい響きを持つトランスフォーマーを造ることは簡単ではありません。巻線のゲージ(太さ)やターン数(巻数)、テンション(巻く強さ)、巻き方(巻線の重ね方)等々のファクターが複雑に関係しあって音色が変化します。トランスに限らず、同様の巻線(コイル)構造を有する音響装置であるスピーカーやマイク、レコードプレーヤーのカートリッジ、またギター用のマイク(ピックアップ)等も、これらのコイルの構成要素が、独自の音色を造り出します。しかし、これらの要素を上手に導き出して設計しないと直ぐに様々な損失が発生して変換効率が低下します。特に高周波は巻線の抵抗値が増加して変換効率が格段に落ちるといった短所があり、先の「ウォームなサウンド」の温床になってしまうのです。これは、変換効率の悪いトランスの音と言っても過言ではありません。

トランス造りの名匠でもあるパラヴィチーニが長年の経験で得た技巧を駆使し、使用する真空管と回路特性を考慮しながら手巻きでデザインしたオリジナルの高効率・広帯域トランスが、V12の澄み通るような高域を創り出しているのです。



Specifications

- インテグレートドアンプ クラス A 級 パラレルプッシュプル
- 出力： 50W/ch ステレオ
- 入力： 5 x line level unbalanced (RCA)
- テープアウト： 1 x Tape monitor
- 周波数特性： 12Hz - 60KHz -3dB (1/2 パワー)
- I.M.D： <0.5%
- 出力ダンピングファクター： 10
- S/N： 93dB (<0.4mV)
- 入力感度： 400mV
- インプットインピーダンス： 47k Ω
- アウトプットインピーダンス： 4 Ω 、8 Ω
- 消費電力： 200W
- 重量： 22kg
- サイズ： W420 x D440 x H135 (mm)
- 使用真空管： ECC83(12AX7) x 10、EL84(6BQ5) x 12



Made in England

⚠ 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。
●水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障等の原因となることがあります。

●このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店へ。もし販売店でおわかりにならない場合は、弊社のカスタマーサポートへおたずねください。●このカタログに掲載の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。●写真の製品の色は、印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。ハガキによるカタログの請求は希望商品名をご記入の上、弊社住所までご依頼ください。

●カタログに掲載されている製品には保証書が添付されています。お買い求めの際は購入年月日など所定事項が記入されているかご確認の上、大切に保存してください。●製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際には製造番号をご確認ください。

お客様サポート <http://www.yoshinotrading.jp/contact-us/>

商品に関するお問い合わせおよびカタログのご請求は下記のカスタマーサポートへお電話でどうぞ。
メールマガジン登録とカタログの送付申し込みもこちらから行えます。



YoshinoTrading

ヨシノトレーディング株式会社 838-0001 福岡県朝倉市秋月今小路 307

- 営業時間 / 月曜～金曜 9:00～18:00 (土曜・日曜、弊社休業日除く)
- 一般電話 050-3375-3975 ●FAX 受付 03-4333-0399

2020 年度版